

# 放課後等デイサービス自己評価表

公表：令和6年2月24日

事業所名 Basicあいおん

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	○			運動、療育、絵画等、各活動に合わせて必要なスペースを確保できています
	2 職員の配置数は適切であるか	○			適切な配置に加え、障害者支援経験者、元教員が在籍しています
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			東京都の指導に基づき配慮しています
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日、職員ミーティングを行い、情報共有や問題解決、業務改善に努めています
	5 保護者向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けのアンケート調査を実施、評価を職員間で共有し改善しています
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			弊社HPにて公開しています
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		外部評価は行っていませんが、保護者からのアンケートを基に必要に応じた改善を行っています
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に研修を行い、常に職員の資質向上を図っています
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			計画期間ごとにアセスメントを行った上で、個別支援計画を作成しています。事業所内で面談(Zoom併用)を持ち、ニーズの聞き取りや保護者との支援方法の共有に努めています
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			日々アセスメントを行った上で、個別課題の対策を行っています
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			各プログラムやイベントの企画は、職員皆で意見を出し合っています
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			日々、日程を作成し、プログラムに変化を加えています
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長時間の支援が可能な機会に、体験学習や特別プログラムを実施しています。平日は個別の利用時間に合わせて課題を工夫しています
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日々利用者の観察を行い、課題によって個別活動と集団指導に分けています。また、内容を個別計画に反映しています
	15 支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			利用者の受け入れ前に、必ず当日の流れと、利用者の情報を共有するようにしています
	16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			活動終了後に、個々の様子を記録にまとめ、次回以降の支援計画について話し合っています
	17 日々の支援に関して、正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			業務日誌、ケース記録の作成、保護者からの連絡帳を保管しています。また活動後に利用者の様子を職員間で振り返り、検証しています
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			3ヶ月に一度、若しくは半年に一度はモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインに沿った内容で将来の社会生活を見据えた支援を行っています
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		現状、具体的なニーズはありませんが、必要に応じて、主に児童発達支援管理責任者、児童指導員が参加しています

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時連絡)を適切に行っているか	○			送迎は行っていないため、送迎に関する連絡はありません 保護者から依頼があれば、学校との情報共有を行っています
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		専門の知識を持つ職員を有していないため、現場での医療的ケアが必要な方の通所は現状難しいです 服薬のある方は、必要に応じて主治医と連絡を取らせて頂くことがあります また、てんかん、食物アレルギーに関しては保護者と対処法・服薬などを情報共有、連携を取り対応しています
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で、情報共有と相互理解に努めているか		○		主に保護者からの聞き取りや書面での情報共有になりますが、生育の背景を知った上で配慮出来るよう心掛けています また、保護者の了解を得ることが出来れば情報共有を行っていきます
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			保護者の同意を得た上で、相談支援事業所と連携し、円滑に情報共有や引継ぎを行います
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			数名の職員で見学・訪問しています
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	近隣に左記の施設がなく、また機会もないため行っていません
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			地域の事業所連絡会等へ参加しています
	28 日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	○			ご利用日にサービス提供記録をメールで送付し、様子をお伝えしています ご家庭よりいただいた情報は、職員間で共有しております
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	○			障害児教育の経験を基に、日々の接し方や家庭で出来る支援方法等を提案し、保護者が将来の見通しを持てるよう支援しています
保護者への説明責任等	30 運営規定、支援の内容、利用者負担等について、丁寧な説明を行っているか	○			契約時に、運営規定と利用者負担額等について説明しています
	31 保護者からの、子育ての悩み等に対する相談に、適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			事業所内相談支援など、機会を設けて助言と支援を行っています 頂いた情報を基に本人への支援の工夫も行います
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	感染症の流行により今年度も見合わせていましたが、来年度から予定をしています
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			契約時に、苦情に関する窓口を案内し、適切な対応が出来るように努めています 重要事項説明書に、第三者窓口についても記載しています
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		祝日や長期休みを利用して体験型施設や公共施設への外部イベントを行いました。
	35 個人情報に十分注意しているか	○			個人情報が記載された書類等は、鍵付き書庫に保管しています また、廃棄書類はシュレッダーで処理を行っています
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			利用者、保護者の状態に応じて、視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達等に努めています

	<b>チェック項目</b>	はい	どちらともいえない	いいえ	<b>改善目標、工夫している点など</b>
37	事業所の行事等に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今年度は新型コロナウイルス感染症を考慮し行えていません
非常時の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを作成し、研修を定期的に行うようにしています
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練等を行っているか	○			定期的に避難訓練を実施しています
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的な内部研修に加え、主となる職員が外部研修に参加しフィードバックを行っています
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、利用者、保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			開所から現在まで、該当事案はありませんが、契約時にご説明し、重要事項説明書にもやむを得ない場合の定義(自傷、他害など)について記載しています
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーの有無に関しては、契約時に必ず確認していきます。また、アレルゲンの一覧は職員が確認できる場所に提示しています
	44 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例が発生した場合には、ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有しています